



【導入設備（備品）】

2D、3Dプロジェクター、150型スクリーン2、補助モニター3、赤外線マイク、BOSEスピーカー、簡易スクラパ-付実験台、SEM(EDS)、蛍光顕微鏡、マイクロスコブ、TV会議システム、同時通訳システム、ワークステーション・CAD

上：後部座席から正面を見る
中：講師側からオペレーター室方向をみる
下：前方窓際より後部座席を見る
左：西5号館壁面のサインGOBO

東京工業大学 国際フロンティア理工学教育プログラム



大岡山西5号館3階W5311



【レクチャーシアターの設置目的】

学部・修士一貫教育の端緒として、初年次学生を対象とした教育改革を目的とし、理工学系のレクチャー講義・講演（実験付講義・講演）を実施する。国の内外を問わずノーベル賞級の先導的研究者の講演や他に例をみない授業・実験を開設、入学類にかかわらず全類の新教育を受講し、学びと気づかせ、グローバル化「バックキャスト型（到達目標駆動型）教育」を展開する場です。

【設備概要】

床面積：260㎡

座席数： 固定座席245席（内2席分を車いす1台利用可） + 可動座席29席 計274席

演台・ステージ

講義・実験を行う場合は、段差の無いフラットな床としました。収納を考えた3分割実験台、スクリーン2枚、電子黒板1台を配備し、前面の黒い壁は全て黒板塗装を施し、多様なレクチャー講義・講演に対応できるようにしてあります。

座席

座席は劇場仕様のシートを用いて、快適な座り心地を追究しながらも必要座席数を確保しました。シンプルで自由なスタイルで聴講ができると共に、講義ノートが取れる収納型机を各座席に配備してあります。また、学生と講師、講義・講演の一体化を意識した配置としております。

オペレーター室

レクチャーシアター内の照明や映像音響設備等の調整を講義に影響のないように一貫して行えるようにオペレーター室を設けました。

TOKYO TECH LECTURE THEATRE